令和４年度　事業報告

新型コロナウイルス感染症は完全な収束には至らないまでも、社会経済活動は徐々に再開されており、少しずつコロナ前の日常に戻りつつあります。

全国一斉に実施された生活福祉資金の特例貸付は、９月末で終了し、貸付決定件数は３００件弱と、令和３年度の２，０００件超と比較すると、数字上は減少いたしました。感染対策に工夫を凝らしながら、コロナ禍で傷ついた支え合いの絆を、少しでも修復するために、地域の方々は試行錯誤しつつ、対面型の活動を少しずつ再開しはじめました。また、社会福祉協議会が運営する児童館や学童保育コーナーでも、子どもたち同士の関わり合いの時間を少しずつ増やしてきています。ボランティアセンターでは、制約を設けつつも、学生ボランティア企画を実施しました。

一方で、コロナ禍の影響により、社会を取り巻く環境が大きく変化し、外出の機会や人との交流が制限される状況が長引いたことにより、地域住民どうしのつながりが弱くなり、孤独や孤立、虐待といった課題は深刻化しており、新たなつながりの再構築が必要な状況です。

本会では、「地域福祉活動の再スタート」や「さまざまな居場所や地域福祉活動」に対し、できる限りの支援を行うべく、現場に出向き、その箇所その箇所に合わせて相談に応じるとともに、講師派遣等の支援や助成を行いました。また、生活に困窮する世帯や複合化した課題を抱える世帯など、社会的に孤立している世帯に寄り添いながら、関係機関や専門職、地域の皆さまとともに相談支援を行いました。児童館を拠点として、「子どもの健全育成と子育て家庭」への支援を行うとともに、「外国文化を認め合う地域共生」についても取り組みました。さらに、様々な活動の活性化を目的に、ＳＮＳを活用した情報発信にも取り組みました。

今後は、今まで以上に、経済活動や人びとの生活様式が変化していくかもしれません。その変化を柔軟に受け入れ、社会福祉協議会として果たすべき使命と役割を再確認しながら、「“こうべ”の社会福祉協議会　地域福祉推進計画　２０２５」に基づいて、思いやりの心を育み、困りごとを抱える人に寄り添い、そして、住民が主役となった地域づくりへの支援を進めていきます。

目指す方向性（事業方針）

SDGs

1．福祉の“魅力”を発信し、思いやりの心を育みます

2．困りごとを抱える人に寄り添い、その人らしい暮らしの実現を応援します

3．さまざまな人が集まり、支え合いにつながる「話し合う場」をつくります

4．地域で支え合う活動が根付くように支援します（新たなつながりの再構築）

≪参考 令和４年度≫ 取り組みの重点事項

1．コロナのもとでの地域福祉活動の支援

◆ 地域福祉活動の再スタート・継続・転換・立ち上げを支援する。
◆ 民生委員や婦人会、ふれあいのまちづくり協議会などとの連携・協働を進め、地域に出向いた支援を行う。
◆ 高齢者の居場所、障がい者の居場所、こどもの居場所を広げ、その活動を支援する。
◆ 住民主体の生活支援活動の立上げと継続を支援する。
◆ ＳＮＳやオンラインを活用し、活動団体の活性化を支援する。

2．地域福祉ネットワーク事業の推進

◆ 悩みを抱える区民からのさまざまな相談を受け止め、寄り添いながら相談支援を行う。
◆ くらし支援窓口など、区役所の各部署や他機関の専門職との連携を進める。
◆ ひきこもり世帯の支援や、当事者とその家族が安心して集える場を作る。
◆ 生活に必要な物品の提供をきっかけに、暮らしに関わる困りごとの相談を受け止める。
◆ 困りごとの相談を区社協や専門窓口につなぐ協力者を増やす。

3．子どもの健全育成と子育て家庭への支援

◆ 児童館での健全育成事業を通して、子どもの生活の安定と保護者への子育て支援を進める。
◆ 地域との連携をさらに密にしながら、児童館や学童保育コーナーがコロナのもとで安定した運営ができるよう支援する。

4．ボランティア活動の推進

◆ スマホミニ講座を開催し、非接触のつながりを広げるとともに一人でもできるボランティア活動を支援する。
◆ ニーズの把握を進め、それらのニーズに対応するボランティアや地域人材を育成する。
◆ 高校や大学との連携を更に進め、地域福祉活動を応援するボランティアや協力者を育成する。

5．寄付を活かした地域支援の推進

◆ 善意銀行や基金の新たな助成により、地域の福祉活動を支援する。

6．外国文化を認め合う地域共生の推進

◆ 児童館を軸として、外国にルーツを持つ子どもと親を支援する。
◆ 地域とともに「住民どうしの交流会」などを実施し、お互いの文化を認め合う意識を高める。

共通の視点

●人材育成（専門的技術・マネジメント能力・政策提案能力など）を進める
●組織全体の方向性（ビジョン）を明確化し、役職員の共通理解を進める
【経営組織としてのガバナンスの強化】

●業務の連携を進め、区社協の全ての職員の力を結集し、総合力で取り組みを進める
●コミュニティワークを充実・発展させ、コミュニティソーシャルワークを進める
【地域共生社会の実現に向けた包括的な支援の実践】

●ホームページやＳＮＳなどを活用し、効果的な広報を行う
●ニーズ調査に基づく現状を分析し、災害時の対応について検討と準備を進める
【地域福祉の現状の発信、災害時の対応に向けた検討】

“こうべ”の社会福祉協議会　地域福祉推進計画２０２５　「ビジョン」

拡げる理解　　拡がる参加　　お互いさまの地域づくり

芝 芝田カナヱ・和江基金を活用　　共同募金配分金の一部を活用

中止 新型コロナウィルス感染症のため中止した事業

Ⅰ．気づき・共感を育む

１．思いやりの心を育みます

（１）手話講習会（入門課程）の開催

手話を学びながら、聴覚に障がいのある方への理解を深めるため、長田区聴力言語障害者福祉協会、手話サークル若葉との共催で、全２２回の手話講習会入門課程（４月１９日～９月２０日）を実施しました。（受講者２０名、修了者１８名）

また、入門課程修了者を対象とした基礎課程（全２１回）の開催に協力しました。（受講者２２名、修了者２０名）

（２）福祉教育・ボランティア学習の支援

①　福祉教育用具及びイベント資機材の貸出件数

福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、備品の貸し出しを行いました。

≪貸出実績≫　（件）

	車いす	アイマスク	白杖	点字ブロック	高齢者疑似体験セット	点字器	イベント	計
福祉教育	5	4	5	6	8	0	0	28
ボランティア学習・社員研修	3	1	0	0	1	0	0	5
その他	2	0	0	0	0	0	0	2
計	10	5	5	6	9	0	0	35

②　「認知症学習会」の開催　中止

（小学校の児童に対して認知症の理解を拡げるため、朗読ボランティアやあんしんすこやかセンターと協力し、紙芝居により実施する事業）

２．支え合う気持ちを後押しします

（1）ボランティアセンターの運営

長田ボランティアセンター・それいけネットワークの運営を通じ、誰でも気軽にボランティア活動に参加できる基盤づくりに努めました。

① ボランティアコーディネート業務

≪ボランティア登録状況≫　　（令和５年３月末）

	登録数
個人ボランティア	208 名
ボランティア団体	244団体（13,319名）

≪相談対応状況≫　　（令和５年３月末）

	件数	備考
ボランティア依頼（ニード）	37 件	うち、個人からの依頼 3件
活動成立（マッチング）	31 件	
ボランティア活動に関する相談	387 件	
その他の相談	1,130 件	「1.17KOBE に灯りを in ながた」関連の相談・連絡含む

② ボランティア保険の受付

≪受付状況≫　　（令和５年３月末）

内 容		加入件数	加入者数
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済	市民活動災害共済	461 件	2,390 名
	天災危険補償プラン	0 件	0 名
兵庫県ボランティア活動等行事用保険		171 件	18,355 名
兵庫県移送サービス交通傷害保険		2 件	13 名
福祉サービス総合補償（全社協）		1 件	32 名

③　ボランティア講座の開催

≪開催状況≫

	講座名（内容）	開催日程	参加者数
1	手話講習会（入門課程の開催）	4月19日 ～9月20日 （全22回）	20 名
2	ピリカ・ボランティアグループミーティング＆講習会 （ピリカを使ってひとりからボランティア活動をする機会を提供する。また、グループ化によって活動の継続を支援する。）	9月12日 10月17日 1月16日 2月20日 3月27日	のべ51名
3	第1回ぴりかーず大集会 第2回ぴりかーず大集合	5月30日 11月21日	11 名 6 名
4	夏の学生ボランティア企画 活動先:① にっこりスマイル食堂 ② ふたば学舎「ふたば夏の陣」 ③ しゅうしんこう晴天食堂「宿題会」 ④ ふたば学舎「ふたば夏まつり」 ⑤ 五位の池小学校「スマイルフェスタ」	① 8月7日 ② 8月9日 ③ 8月20日 ④ 8月21日 ⑤ 8月24日	① 3 名 ② 3 名 ③ 5 名 ④ 4 名 ⑤16 名
5	ボラカフェビギナーズ （これからボランティアをはじめよう、再開しようと考えている一般向け講座）	10月12日 11月9日 12月14日 1月11日 2月8日 3月8日	のべ14名
6	ボランティアのためのコミュニケーション術 講師:松尾　弥生さん （ボランティア活動をするにあたって、求められるコミュニケーションのとり方を学ぶ。）	12月9日	19 名
7	1.17KOBEに灯りをinながた　防災・減災授業 （出前講座） （防災・減災学習と 1.17 当日のローソクづくりのワークショップ、あるいはメッセージの作成。）	12月12日 12月15日 12月16日 12月20日	238 名
8	春の学生ボランティア企画 活動先:① 学習ひろば ② 学習ひろば ③ ヒーロー食堂	① 3月9日 ② 3月23日 ③ 3月27日	6 名
		計	394 名

④　ボランティアルームの運営

区社協事務所内に設置したボランティアルームをボランティアグループの会議や情報交換の場として運営しました。

・ボランティアルームを活用した企画

『ピリカ・ボランティアグループミーティング＆講習会』（５回）

『ボラカフェビギナーズ』（６回）

・ボランティアルーム定期利用登録団体　７団体

⑤　神戸市事業「ＫＯＢＥシニア元気ポイント」への協力

ポイント事務局が開催する「活動者向け説明会」に協力し、ボランティアコーディネーターが活動の心構えの講義を行い、高齢者の社会参加を応援しました。

≪説明会開催状況≫　６回（参加者数　４３名）

（２）多様な福祉活動への参加の促進

①　テレフォンサポート事業の実施

区民のボランティア活動をサポートしながら、閉じこもりがちな高齢者を対象に電話を通じた傾聴活動により安否確認を進めました。

また、ボランティア連絡会を年間１０回開催しました。

≪テレフォンサポート　活動状況≫　※毎週火・木の午後に実施

ボランティア数	対象高齢者数	活動日数	通話回数(のべ)
6 名	13 名	95 日	531 回

②　高齢者マッサージ奉仕の実施

神戸市視覚障害者福祉協会長田支部、ふれあいのまちづくり協議会等の協力を得て、高齢者マッサージ奉仕を実施しました。

真陽ふれあいのまちづくり協議会（真陽地域福祉センター）

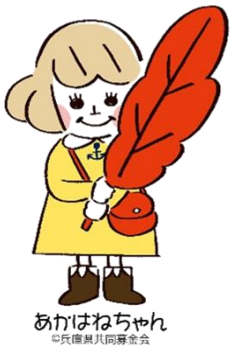
令和４年９月９日（金）１０：００～１２：００　　１６名参加

③　共同募金運動への協力

地域や団体、学校などさまざまな主体が参画する長田区共同募金委員会の運動に協力しました。

≪赤い羽根共同募金の実績≫

	実績額	備考
一般募金	4,224,775 円	10月～12月
期間拡大募金	141,245 円	1月～ 3月
計	4,366,020 円	



≪歳末たすけあい募金の実績≫

	実績額	備考
歳末たすけあい募金	3,025,480 円	11月中旬～12月中旬

芝（3）芝田カナヱ・和江基金を活用した助成と事業の実施

長田の子どもたちの幸せを願う寄付者の希望に沿って、地域で福祉活動を行う団体、施設を支援しました。

≪芝田カナヱ・和江基金運営委員会の開催≫

令和５年２月２４日（長田区役所　７階会議室）

≪児童福祉事業助成審査委員会の開催≫

令和５年２月８日　（長田区役所　５階会議室）

実施内容			助成額	備考
事業に対する支援	1	児童福祉事業助成	0 円	申請なし
	2	こどもを中心とした地域交流事業助成	30,000 円	
	3	こどもの居場所運営助成	397,000 円	
	4	サマーチャレンジ	210,000 円	
	5	ママコーチング	127,270 円	
	6	長田区5歳児地域交流会	110,000 円	
	7	長田区児童館合同行事わくわくお楽しみ会	0 円	中止
	8	夏休みものづくり教室への助成	0 円	中止
	9	絵本こうかん市場事業	24,000 円	
施設への支援	10	児童福祉施設物品購入助成 (児童養護施設・母子生活支援施設)	300,000 円	
	11	児童福祉施設物品購入助成 (赤ちゃんホーム)	30,000 円	
	12	児童福祉施設等入所児童の就労に対する助成	100,000 円	
就学	13	交通遺児に対する助成	80,000 円	
その他	14	芝田カナヱ・和江文庫　はびっと	418,758 円	
	15	里親制度への支援	0 円	中止
計			1,827,028 円	

（4）善意銀行による団体などへの支援

区民や企業、団体からの善意（寄付、物品）をお預かりし、寄付者の意向に沿いながら、区内の団体、施設に対して払出を行いました。

≪善意銀行運営委員会の開催≫

令和５年２月２４日（長田区役所　７階会議室）

≪金銭　預託状況≫

預託金	件数	金額
預託金	29 件	783,546 円
利息収入	－	19,240 円
計	29 件	802,786 円

≪金銭　払出状況≫

払出先	金額
長田区聴力言語障害者福祉協会	30,000 円
駒ヶ林婦人会	50,000 円
ふれあい喫茶すずらん	30,000 円
長田区母子福祉たちばな会	30,000 円
ルーテルカフェ	50,000 円
計	190,000 円

≪物品　預託・払出状況≫

預託		払出	
預託者	預託物品	払出先	払出数
株式会社マルハン	菓子　19,666個	地域団体･こどもの居場所･区内福祉施など　53件	19,566個

≪車いすの貸し出し状況≫

１０１件

≪綿菓子機、ポップコーン機等イベント用機材の貸し出し状況≫

１６件（綿菓子３、餅切り７、ポップコーン４、かき氷２）

（5）赤い羽根共同募金配分金による団体などへの支援

配分金を活用して、地域に根付いた地域福祉活動が実施できるよう支援しました。

≪赤い羽根共同募金　配分状況≫　　※令和３年度の募金を財源に配分

	配分団体	配分額
高齢者 福祉活動	長田区老人クラブ連合会 ふれあいのまちづくり協議会 神戸市視覚障害者福祉協会　長田支部	142,411 円
障がい児･者 福祉活動	神戸市視覚障害者福祉協会　長田支部 長田区聴力言語障害者福祉協会	130,000 円
児童･青少年 福祉活動	長田区子ども会連合会 長田地区青少年育成協議会 長田区母子福祉たちばな会 神戸市少年団野球リーグ　長田地区委員会 小地域子育て支援ネットワーク　１８ページ参照	395,000 円
住民全般 福祉活動	長田区連合婦人会 長田区民生委員児童委員協議会 長田区保護司会 長田区遺族会	890,440 円
	計	1,557,851 円

（6）歳末たすけあい募金配分金による団体などへの支援

配分金を活用して、年末、年始を中心とした地域住民の交流活動を支援しました。

≪歳末たすけあい募金　配分状況≫　　※令和４年度の募金を財源に配分

	配分団体(事業)	配分額
高齢者	高齢者への見守り活動支援カレンダー配布事業	670,362 円
	ひとりぐらし高齢者等給食サービスグループ活動支援(18団体)	620,000 円
障がい児･者	障がい児･者と地域住民の交流事業助成(8団体)	305,940 円
外国人	外国人と地域住民の交流事業助成(3団体)	140,000 円
福祉課題	何らかの事情で制度やサービス等が届きにくい 福祉課題を抱える人や世帯への支援(2団体)	179,000 円
児童	こどもの居場所(学習支援･食事提供等)事業の活動支援(8団体)	256,000 円
地域活動	NPO等による地域福祉活動への支援(1団体)	25,000 円
	親子で参画する地域歳末行事への助成(8団体)	155,000 円
	歳末たすけあい募金地域福祉活動費(15団体)	272,600 円
	計	2,623,902 円

３．福祉の“魅力”を発信します

（1）情報発信の充実

①　区社協ホームページ及びＳＮＳを用いた情報発信

給食グループによる配食活動や地域のふれあい喫茶を取材し、タイムリーに情報発信しました。

また、助成金情報や区社協の事業についても発信しました。

そして、地域情報をタイムリーに発信する Instagram の開設、長田区社協の講座やボランティアの最新情報を登録者に発信する LINE 公式アカウントを開設しました。

HP　facebook　Twitter　Instagram　LINE

②　ボランティアセンター情報誌の発行

季刊「それいけ　ながた」No.８（令和５年３月）　８００部

４．日頃から災害への備えを進めます

市内の他の社会福祉協議会（神戸市社協、区社協）と協定を締結し、災害時に職員派遣や物資の支援など、相互に支援し合える体制を整えました。

また、阪神・淡路大震災で大きく被災した長田区だからこそ得られたさまざまな想いを風化させることなく、防災の視点を持って次世代へ継承していくことが大切です。

（1）「１．１７ＫＯＢＥに灯りをｉｎながた」実行委員会への協力

灯りをともす市民参加型の事業として、阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼行事を行う実行委員会に協力しました。

≪開催状況≫

日　　時	令和5年1月17日　16:30～20:30
場　　所	鉄人広場
内　　容	① ペットボトル灯ろう、LED 灯ろう、竹灯ろうの3種類を会場内3か所に設置し、祈りを捧げる場を提供。 ② 追悼ライブ（鷹取中学校有志による合唱、長田の宮神撫太鼓、神戸なかよし太鼓、溝端健太の和太鼓演奏）の実施。 ③ 学生ボランティアによる次年度開催に向けた募金活動の実施。

≪学生のボランティア参加≫

（事前準備）

神戸常盤女子高校２０名（牛乳パック募金箱づくり）

（当日）

兵庫県立大学　５名（東日本大震災支援サークルBridge）

神戸常盤大学　７名

関西国際大学　８名

神戸大学　　３名

大阪大学インターン　　６名

神戸常盤女子高校　　４２名

鷹取中学校（合唱）約５０名　　※順不同

≪震災防災学習会≫

小中学校を対象に、震災と防災に関する学習会を実施しました。

また、同時に追悼行事で使用するロウソクづくりとＬＥＤ灯ろうにメッセージを書くワークショップを開催しました。（灯ろうメッセージ作成数　約３００件）

実施校	実施日	学年	参加者数	ワークショップ
駒ヶ林中学校	12月15日	1年生	78 名	ロウソクづくり
蓮池小学校	12月16日	4年生	79 名	ロウソクづくり
長田南小学校	12月20日	6年生	47 名	メッセージ
水木小学校	12月12日	4年生	43 名	ロウソクづくり
計			247 名	

≪竹切りワークショップ≫

竹切りを体験するワークショップの開催に協力しました。伐採した竹で募金箱を作成し、当日、来場者に配布しました。

日　　付	令和5年1月7日
場　　所	若王山無動寺(北区山田町)
参 加 者	11名

（２）長田区災害時の医療・介護提供協議会への参画

災害時に医療と介護事業者が連携して取り組むことができるよう、医師会、歯科医師会、薬剤師会、区内介護事業者などと平時からネットワークを組んでいます。

Ⅱ．くらしに寄り添う

１．困りごとを受け止め、つなぎます

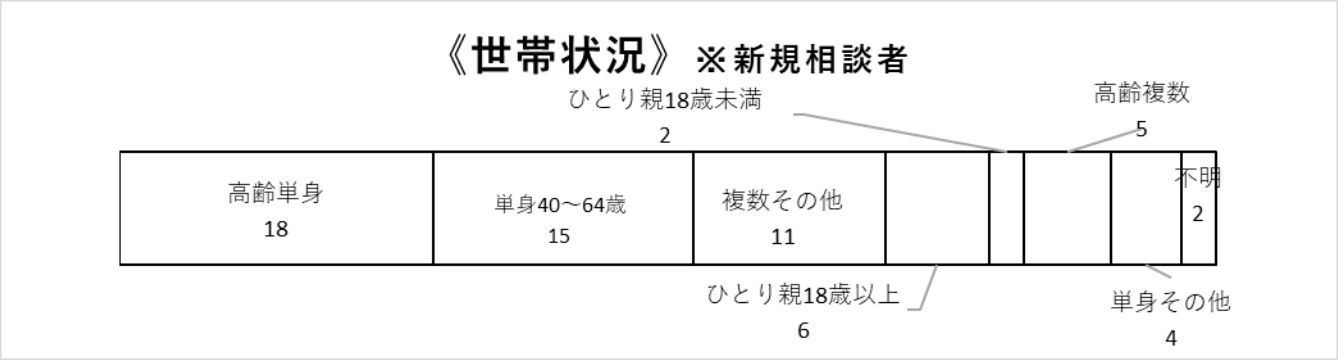
（1）地域福祉ネットワーク事業

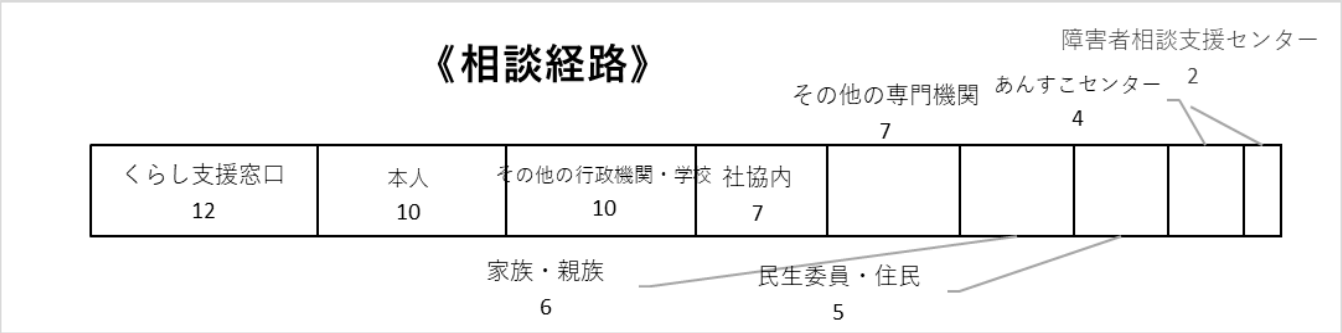
既存の制度や福祉サービスでは解決することが難しい、そのような複合的な福祉課題を抱える世帯に、関係機関や専門職、地域団体をつなぎ、それぞれの役割で支えていくしくみをつくる取り組みが「地域福祉ネットワーク事業」です。

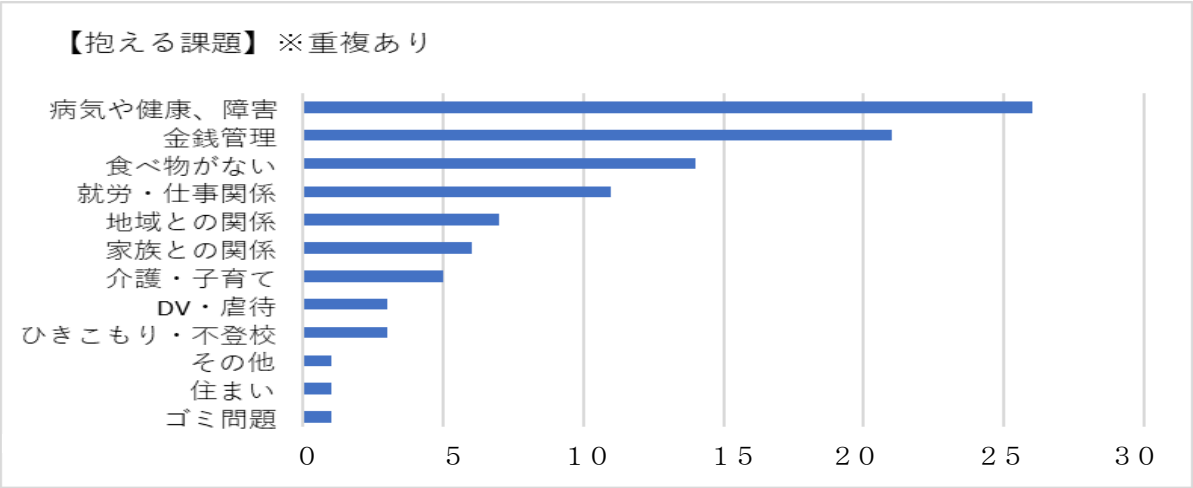
地域福祉ネットワーカー、生活支援コーディネーター、子育てコーディネーターなど、区社協のワーカーの総合力により、くらしの困りごとや悩みを受け止め、その人に寄り添いながらさまざまな福祉サービスにつなぐサポートを行いました。

≪個別支援ケース数≫

新規　63　件	継続　16　件	計　　79　件







地域福祉ネットワーカーによる支援の事例

世帯の状況

Ｔさん（73代・男性）
単身、大阪出身、成育歴不明。精神手帳１級所持していたが、病院受診拒否により更新していない。親族の所在も不明。
大阪の施設より逃げて来神し中間支援者の支援を受け、生活保護を受給している。

支援期間

初回平成３０年５月～本人の強い拒否により一旦支援中断。
令和３年５月より支援開始。

相談経路

近隣のコンビニから尿臭と数年入浴していない衣類の汚れなどから苦情があんしんすこやかセンターに入り、ネットワーカーに繋がった。

抱える課題

◆自宅室内がごみ屋敷状態。数年入浴されておらず、衣類も洗濯しない。
◆本人に困り感はなく、周囲が困っている。支援への拒否感が強い。
◆中間支援が関わっているが金銭搾取の疑い。金銭管理が出来ない。
◆精神疾患より、支援に対して本人の理解が難しい。

⇩

地域福祉ネットワーカーの視点

本人との関係構築

２年以上かけ定期的に自宅訪問し、気持ちに寄り添うところからはじめ、話をすることで信頼関係を築き、安心して受け入れてもらえるようになった。

関係機関と連携 → 自立した生活を目指す

〇生活保護担当ケースワーカー、あんしんすこやかセンターと情報共有し、生活を見守りながら困りごとを１つずつ本人と一緒に考えていく。
〇本人が食べるものがない不安→ ケースワーカーと金銭管理の課題を検討する。
〇関係機関と世帯支援会議を開催し、お互いの役割を共有した。

支援の内容

◇金銭管理→安心サポートセンター
◇往診医師につなげ、介護サービスの利用の為に申請を行う。
→あんしんすこやかセンター
◇生活を整えていくため介護サービスを考える。→ ケアマネジャー
◇近隣住民の見守り　→ 同じアパートの住民

≪支援の結果≫

●地域福祉ネットワーカーが本人と話し、本人のペースに合わせ時間をかけて信頼関係を築くことで、徐々に支援を受け入れてくれるようになった。
●関係者で集まり、情報共有することで、時間はかかったが、必要な支援につなげることができた。
●安心サポートセンターにつながったことで、本人へ適切に生活費を渡し、食べ物がない不安を解消できた。
●食糧を買えるお金があることから、安心して介護サービスの利用を受け入れた。

（2）生きづらさを抱えた人に居場所や“しごと”の場を提供

何らかの事情で生きづらさを抱える方が集う事の出来る場の支援を目的に、令和３年１０月より（居場所、生きがい、役割づくり）当事者支援「ぺだる」の定期開催をしています。参加することで外出の機会を増やし、本人の実情を把握しつつ成功体験を増やし、人との交流に慣れていただく場として活動を広げていただきたいと考えています。

日　　時	毎週金曜日　　10:00～12:00 第3金曜日のみ　13:30～15:30
場　　所	長田区役所　4階　ボランティアルームなど
内　　容	軽作業(書類の印刷やセット、封入など)

（3）食のセーフティネット事業

生活に困窮する人に対し、区役所（くらし支援窓口など）や他の行政機関、あんしんすこやかセンター、生活福祉資金相談員と連携し、緊急的に食糧支援を行いました。

提供世帯	18世帯
主な理由	・貸付入金までのつなぎ支援 ・解雇や失業、就職活動の難航 ・雇用保険受給までの支援 ・金銭管理が難しい ・お金の紛失など

（4）成年後見制度の利用手続き「長田区相談室」の運営協力

成年後見の制度や利用手続きについて情報提供を行う初期相談窓口を神戸市社協成年後見支援センターとの協働により運営しました。

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、４月～９月は成年後見支援センターでの電話相談に切り替えました。

≪実施状況≫

開 設 日	毎月第4金曜日　13:30～15:30　　※10月～3月は対面実施
場　　所	長田区役所　4階
相談件数	6件
相談内容 (重複あり)	・制度説明　4件　・申し込み手続き説明　1件 ・成年後見センターの紹介　1件 ・専門機関の紹介　1件　・障害者支援センターの案内　1件

２．自分らしく暮らせるように応援します

（1）社協運営児童館の管理・運営

区内１０館の児童館のうち、神戸市社協が指定管理者となっている７つの児童館と３つの学童保育コーナーについて運営を支援しました。

令和４年４月より長田小学校内に長田学童保育コーナーが開設されました。

（2）区内児童館の運営支援

子育てコーディネーターが、社協運営の７児童館、３学童保育コーナーとともに、他法人が運営する３児童館（１学童保育コーナー）の運営を支援しました。

≪区内児童館の状況≫　　（令和５年３月末）

	館・コーナー	年間利用者数（※1）	平均利用者数（※2）	放課後児童クラブ登録児童数
社協運営館	真野児童館	7,303 名	25 名	24 名
	志里池児童館	10,480 名	36 名	31 名
	長楽児童館	15,465 名	53 名	62 名
	片山児童館	12,348 名	42 名	40 名
	池田児童館	13,894 名	47 名	61 名
	長田学童保育コーナー	6,091 名	21 名	36 名
	長田児童館	11,753 名	40 名	37 名
	御蔵学童保育コーナー	9,647 名	33 名	43 名
	細田児童館	22,533 名	78 名	70 名
	蓮池学童保育コーナー	7,686 名	26 名	35 名
	小 計	**117,200 名**	**401 名**	**439 名**
他法人運営館	五位の池児童館（運営：神戸新生福祉会）	9,053 名	30 名	45 名
	駒栄児童館（運営：近田幼稚園）	18,045 名	62 名	84 名
	大日丘児童館（運営：雲雀ヶ丘福祉会）	16,582 名	57 名	41 名
	丸山ひばり学童保育コーナー（運営：雲雀ヶ丘福祉会）	2,352 名	9 名	16 名
	小 計	**46,032 名**	**158 名**	**186 名**
	合 計	**163,232 名**	**559 名**	**625 名**

※１：定例活動・行事の利用者、自由利用・その他の利用者

※２：令和４年度開館日数　２９３日

≪巡回支援≫

児童館巡回　６４回

≪児童館指導員区内研修会≫

研修名	実施日	内　容	参加者数
指導員・放課後児童支援員合同研修	6月29日（水）	スクールカウンセラーから見た子どもの現状と課題～児童館に期待すること～	32 名
指導員研修	11月25日（金）	「防災プログラム」について	10 名
放課後児童支援員研修	10月18日（火）	アンガーマネージメント～児童支援へ活かす感情コントロール法～	22 名

（３）拠点児童館事業への支援〈細田児童館〉

総合児童センターと連携しながら、専門講座の開催や区役所や主任児童委員と連携した取り組みを支援しました。

≪実施状況≫

講座・事業名	実施日	参加者数
赤ちゃんとのふれあい講座（第1回）	9月14日～10月5日	計4回 のべ42 名 （5組）
赤ちゃんとのふれあい講座（第2回）	11月9日～12月7日	計4回 のべ38 名 （5組）
保育現場で活かす インリアル・アプローチ	1月18日 1月25日	計2回 のべ19 名
学習支援事業 「夏休み　じどうかんスタディひろば」	7月26日～7月28日 8月16日～8月18日	計6回 のべ73 名
J－café（じどうかんカフェ）	4月15日～3月10日	計37回 のべ36 名
子どものおべんとうひろば	7月22日～29日 12月26日～28日 1月4日～6日 3月27日～31日	計16回 のべ2 名
あおぞら☆きょてんじどうかん 「あおぞらまつり」 「なつまつり」 「ハロウィン」 「クリスマス」 「せつぶんあそび」	 5月18日 7月6日 10月12日 12月14日 2月1日	 38 名 71 名 70 名 51 名 62 名

（4）児童館を拠点とした地域の子育て支援

① 子育てコミュニティ育成事業

地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図るため、児童館を拠点として民生委員、主任児童委員、婦人会、ふれあいのまちづくり協議会などの地域団体やボランティアの協力により開放委員会を設置し、休日に自由開放、行事開放を実施しました。

≪実施状況≫　※社協運営の児童館のみ

児童館	自由開放･行事開放		主な行事開放の内容
	実施回数	来館人数	
真野	6 回	134 名	なつまつり、スノードームをつくろう、ハロウィンパーティー、クリスマス会、節分遊び、段ボール工作
志里池	4 回	164 名	秋祭り、クリスマス会、百人一首大会、映画会
長楽	5 回	268 名	なつまつり、ハロウィン(2回)、クリスマス会(2回)
片山	14 回	525 名	畑で土づくり･さつまいも植え･収穫、ビンゴゲーム、なつまつり、クイズゲーム、アトラクション、クリスマス会、お正月遊び、絵本読み聞かせ、フラワーアレンジメント
池田	2 回	69 名	子育てフェスタ IKEDA (絵本読み聞かせ、工作、外遊び)
長田	2 回	188 名	クリスマス会、防災訓練(消防体験)
細田	1 回	67 名	クリスマス会
計	34 回	1,415名	

② 小地域子育て支援ネットワークの推進と組織化

地域団体や事業者、学校等が、児童館を拠点として情報交換や課題検討を行うことにより、地域の子どもたちの健全育成を目的とした連絡会を開催しました。

≪実施状況≫

小学校区	児童館	連絡会	イベント
真陽	駒栄児童館	計 1 回	計 2 回
室内･御蔵･水木	長田児童館	計 6 回	計 3 回
蓮池	細田児童館	計 1 回	中止
池田･長田	池田児童館	計 11 回	計 2 回
駒ケ林	長楽児童館	計 2 回	中止

③　出前児童館（よーせて☆なかよしひろば）

児童館を利用しにくい乳幼児が集うことのできる場をつくり、親が孤立することなく仲間づくりができることを目的として、児童館の協力を得ながら、出前児童館を実施する予定でした。しかし、令和４年度は予定していた時期に感染症が増加したため、区役所での開催は見送り、各児童館での親子館事業（乳幼児親子向け事業）の充実をはかるため、エプロンシアターの物品配布を行いました。

芝④　ママコーチング（親子ヨガ）

区内児童館に集う親子を対象に、各児童館で講師の指導のもと、楽しくヨガにチャレンジし、その後も自宅で継続してリフレッシュできる方法を学ぶことで心と体の健康増進と心の安定を図りました。１０児童館４８組（のべ９９名）が参加しました。

（5）生活福祉資金の貸付相談

低所得者や高齢者、障がい者世帯の経済的な自立と生活の安定のため、民生委員・児童委員による相談活動を支援しながら、制度実施主体である兵庫県社会福祉協議会、神戸市社会福祉協議会、区役所くらし支援窓口と連携し、貸付相談を実施しました。

また、新型コロナウィルス感染症の影響で、離職した世帯や収入が減少した世帯の支援のため、特例貸付の相談窓口を実施し、相談対応を行いました。（申請受付は令和４年９月末で終了。償還に関する相談は継続中。）

≪相談対応状況≫

資金種類		相談対応件数	貸付決定件数	貸付決定額
総合支援資金		64 件	0 件	0 円
福祉資金	住宅改修費	980 件	0 件	0 円
	福祉用具等の購入		2 件	907,000 円
	障がい者用自動車		0 件	0 円
	転宅費		1 件	290,000 円
	一時的に必要な経費(ｴｱｺﾝ等)		6 件	370,000 円
	緊急小口資金		5 件	430,000 円
教育支援資金		2,332 件	74 件	63,693,600 円
計		3,376 件	88 件	65,690,600 円

特 例 貸 付	相談対応件数	貸付決定件数	貸付決定額
償還	963 件	-	-
緊急小口資金	673 件	144 件	27,870,000 円
総合支援資金	472 件	142 件	71,760,000 円
計	2,108 件	286 件	99,630,000 円

※貸付資金の交付・償還管理は、兵庫県社会福祉協議会で実施。

※特例貸付は９月末で終了。

Ⅲ．つながり、支え合う

１．支え合い活動につなげるため、話し合う場をつくります

（1）民生委員・児童委員との連携

①　小地域支え合い連絡会を中核とした地域支え合い活動の展開

７か所のあんしんすこやかセンターと連携して、各地区民児協ごとに開催し、見守りが困難な事例への対応を各委員と共有するなど、高齢者の見守り活動を支援しました。

≪小地域支え合い連絡会　実施状況≫

開催回数	出席者数(のべ)
のべ45 回	民生委員:344 名　　区社協:82 名 あんしんすこやかセンター:125 名

②　高齢者の訪問調査

長田区民児協の協力を得て、７０歳以上の単身高齢者や７５歳以上の高齢者のみの世帯に対する訪問調査を行い、高齢者見守り活動の基礎資料として整備しました。

≪訪問調査 実施状況≫

	70歳以上 単身世帯	75歳以上 高齢者のみの世帯
事前案内対象件数 (A)	1,386 世帯	350 世帯
訪問不要の返信等 (B)	765 世帯	199 世帯
訪問調査件数 (A)－(B)	621 世帯	151 世帯

≪訪問調査後の「見守り台帳」作成状況≫

	単身高齢世帯	75歳以上 高齢者世帯
「見守り台帳」作成済 ※累計	6,125 世帯	983 世帯

（2）生活支援活動、生活支援サービスの開発と定着

①　地域ケア会議への参画

あんしんすこやかセンター圏域の高齢者見守りの関係者が集まり、地域課題や支え合い活動の仕組みづくりについて話し合う場に参画しました。

また、区役所あんしんすこやか係と協働して区地域ケア会議に参画し、あんしんすこやかセンター圏域で把握した地域課題について整理し、分析を行いました。

② ひきこもり家族のつどいの場「いろり」の開催

ひきこもり当事者を支える家族に寄り添い、集まって悩みを話し、気持ちを共有することで、心が少し楽になるような温かいつどいの場として「ひきこもり家族のつどいの場『いろり』」を開催しました。

≪実施状況≫

開　　催	全5回(5月、7月、9月、12月、3月)
会　　場	長田区役所　6階　多目的室　※12月は長田区文化センター
参加人数	のべ8名

（3）障がい者の自立と社会参加の促進

① 長田区自立支援協議会への参画

障がいのある人がそれぞれのライフステージに応じた自分らしい生活を実現することを目的として、障がいに関わるさまざまな関係機関や団体、行政と連携して、課題解決のために協議を行っています。

② 障がい福祉サービス事業所紹介ホームページ「さるびあギフト」の運営

区内の障がいサービス事業所の商品や受注作業の広報の促進、また、工賃の向上を目的に、本会ホームページ内に現在、２５の事業所の商品や受注作業を紹介するページを開設しています。

さるびあギフト　さるびあギフト

③ 一七市拡大版（福祉フェア）への協力　中止

（区内の障がい福祉サービス事業所等が中心となり、小学校や企業が連携するイベントに協力しています）

２．支え合い活動のしくみをつくり出します

（1）ほっとかへんネット長田（長田区社会福祉法人連絡協議会）への参画

区内の社会福祉法人（２６法人・３４施設）が施設の種別を超えてネットワークを構築し、地域における公益的な取り組みを行うために設立しています。本会も参画し、ホームページ内に取り組みを紹介するページを開設しています。

ほっとかへんネット長田

≪実務者会≫

（加盟法人が３つのチームに分かれて活動の企画実施に取り組みます）

研修チーム （9法人）	(1)分野を超えた研修会の企画・実施 困窮者の実態・実情を知り、ほっとかへんネット長田としてどのような支援ができるのかをテーマに全体研修会(グループワーク)を実施。
課題解決チーム （9法人）	(2)地域の課題解決のための具体的な活動の提案 活用先として、福祉相談会やこどもの居場所運営団体などにも拡充し、フードドライブを継続して実施。
広報・イベントチーム(8法人)	(3)活動の周知・啓発、及びイベント企画・実施 PR グッズやホームページを活用した広報・啓発活動、加盟法人施設のイベントの開催に併せて出張福祉相談会を実施。

芝（2）長田区５歳児地域交流会の開催支援

公立私立の保育所（園）と認定こども園の５歳児が近隣の地域ごとに４つの会場に分かれ、運動あそび（ドッジボールなど）を実施して交流を深めました。

また、小学校入学に向けた文具記念品の配布は、芝田カナヱ・和江基金が活用されました。

３．支え合い活動が地域に根付くように応援します

（1）ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の推進

民生委員・児童委員と地域住民ボランティアによる、高齢者の安否確認と孤立を防止するための見守り活動の支援を行いました。

≪友愛訪問活動グループ　活動状況≫

グループ数	ボランティア数	対象高齢者数	安否確認回数(のべ)
253 グループ	1,122 名	2,041 名	113,643 回

（2）ひとりぐらし高齢者ふれあい給食活動の推進

地域のさまざまな団体の協力を得ながら、高齢者に交流の機会を提供し、ふれあうことによって、孤立の防止を図るふれあい給食活動グループの運営を支援しました。

≪ふれあい給食活動グループ　活動状況≫

グループ数	参加高齢者数(のべ)	実施回数
28 グループ	9,865 名	299 回

① 『長田もぐブログ』による情報の発信

給食会の情報やボランティアの活動を広く知ってもらうため、本会ホームページに「長田給食会『長田もぐブログ』」としてシリーズ化し、情報を発信しました。

長田もぐブログ キャラクター
「長田もぐ」

ホームページの新着情報で、『長田もぐブログ』を随時、発信しています。

長田区社協ホームページ　長田区社協ホームページ

② コロナ禍での再開や継続の支援

新型コロナウィルス感染症の影響を受け、従来の飲食を伴う会食に代わり配食形式で順に給食会は再開していきました。会食はできなくても感染予防対策を行いつつ、高齢者のためのイベントや交流活動等の事業を負担なく実施することができるよう、健康体操やフラワーアレンジメントなどの講師メニューを提案し、講師派遣を行いました。

≪実施状況≫

内　　容	給食会グループへの座ってできる健康体操や脳トレ体操、フラワーアレンジメントなどの講師派遣
活用給食会数	9グループ
参 加 者 数	のべ177名

③ 長田区ふれあい給食会　情報交換＆交流会

コロナ以降、感染予防対策を行いつつ各ふれあい給食会が再開されました。お互いの活動の悩みや工夫を共有し、コロナ禍での活動状況を知ることで、内容の充実と活動者のモチベーションアップを図ることを目的に、情報交換及び交流会を開催しました。

日時：令和５年２月２２日（水）１４：００～１５：３０

場所：７階大会議室

参加者：１９グループ（３２名）

④　長田区歯科医師会による口腔ケア指導への協力　**中止**

（区歯科医師会が実施する地域住民への口腔ケア指導の取り組みに協力し、希望する給食活動グループへの派遣を調整）

（3）さまざまな居場所づくり

①　コミュニティづくりの活動とつどいの場の支援

あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員と連携しながら、コミュニティづくりや介護予防、また、高齢者が誰でも参加できる「つどいの場」に取り組む地域住民による支え合いグループの支援を行いました。

≪講師派遣メニューの提供≫

地域活動の活性化や活動の機会となるように、地域の要望に添った講師派遣メニューを提案し、地域団体が実施するつどいの場などの活動を支援しました。

内　　容	地域活動グループへの健康体操や脳トレ体操、 フラワーアレンジメントなどの講師派遣
グループ数	15グループ
参加者数	のべ201名

≪「つどいの場」交流会の実施≫

開 催 日	10月11日（火）
会　　場	長田区役所　6階　多目的室
内　　容	つどいの場　交流会 ・みんなで音楽体操♪ ・活動紹介＆PR　※紹介冊子を作成、配布 ・意見交換（広報の方法、コロナ禍で工夫していること等） ・事務連絡
参加団体	つどいの場支援事業交付決定団体　7グループ

②　生きづらさを抱えた人に居場所や“しごと”の場の提供（再掲）

１５ページ参照

芝　③　ひきこもり家族のつどいの場「いろり」の開催（再掲）

２２ページ参照

④　『絵本こうかん市場』の運営

絵本の有効活用と絵本を通じた子育て環境の整備を目的に、池田婦人会と協力しながら、長田中央市場内に開設し、運営を行いました。

⑤　こどもの居場所への支援や立ち上げ支援

こども食堂や学習支援を行う２１団体に、巡回支援、情報提供、寄贈品の配布（物資パントリーなど）の支援を行い、顔の見える関係づくりのための情報交換会や交流会を実施しました。

これから立ち上げようとしている活動希望者の相談を受け、情報提供や助成などの立ち上げ応援を行いました。（相談１５件、うち４件は活動開始）また、こどもの居場所についての理解を深めてもらえるよう、「長田区こどもの居場所紹介マップ２０２３」を作成し、こどもの居場所実施団体や、これから立ち上げようとする活動希望者、関係機関等に配布しました。

≪パントリー・情報交換会・交流会の実施状況≫

開 催 日	① 7月27日 ② 11月8日 ③ 3月6日
会　　場	① 長田区役所 4階 ボランティアルーム ② 長田区役所 7階 701会議室 ③ 長田区役所 7階 702会議室
内　　容	① 活動者対象のミニ物資パントリーの開催及び物資の提供、団体同士で日々の活動の情報交換。 ② こどもの居場所活動団体と行政関係者の情報交換とグループワーク、助成金について等の情報提供。活動団体対象の物資パントリー。 ③ こどもの居場所活動団体の交流会により交流を深める。活動団体対象の物資パントリー。
参 加 者	① こどもの居場所実施団体 3団体4名 ② こどもの居場所実施団体 12団体18名　区社協･行政 10名 ③ こどもの居場所実施団体 12団体13名　その他 1名 区社協･行政 7名

４．違いや文化を認め合う地域を目指します

（1）多文化交流と多文化共生の促進

①　地域共生コーディネート事業の実施（区役所からの受託事業）

地域社会とのコミュニケーション不足や、文化の違いについての相互理解が不足していることで、地域と在住ベトナム人親子は、共にさまざまな課題を抱えています。

通訳や翻訳によるコミュニケーション支援を行い、相互文化の理解不足を補うことを目的として、地域共生コーディネーターを配置しました。

②　シンチャオ巡回の実施

児童館や学童保育コーナー、保育所でのベトナム人児童の増加に対応するため、施設を巡回（計３９回）し、課題を把握し、通訳や翻訳支援を行いました。併せて、必要と思われる日本語を教え、意思疎通を図りました。

（2）児童館を軸とした外国人親子への支援

≪情報交換会の実施≫

ベトナム人の児童が多い区内の児童館、学童保育コーナーと本会、区まちづくり課で、ベトナム人親子の抱える課題について共有する情報交換会を実施しました。

開 催 日	9月30日
会　　場	長田区役所 7階 702会議室
内　　容	・各館で把握したベトナム人親子の抱える課題の情報共有 ・各課題への対応の検討
参 加 者	真野児童館、志里池児童館、池田児童館、細田児童館、長楽児童館、駒栄児童館、大日丘児童館、御蔵学童保育コーナー、区まちづくり課、区社協

≪コミュニケーション支援の実施≫

ベトナム人の児童が多い児童館や学童保育コーナー、保育所、区乳幼児健診（4ケ月、１歳半）に参加する親子を対象に、地域共生コーディネーターが対面や電話での通訳、翻訳の支援、日本語教室、わかりやすい日本語の資料提供などを行いました。

通訳支援 82回 109人	・放課後児童クラブ入会説明会 ・児童館で実施する懇談会 ・各児童館でのベトナム人親子への個別対応 ・保育所入所説明や書類の記入 ・区乳幼児健診
翻訳支援 20件	・各児童館の広報紙 ・おたよりや連絡文書 ・放課後児童クラブ入会説明会要項
日本語教室 6回	言葉の壁により、ベトナム人親子のコミュニケーションがうまく取れず、保護者によるこどもの学習支援が難しいなどの課題に対応するために日本語について学ぶ機会を作りました。日本語教室の参加者の交流促進を目的にシンチャオカフェタイムを実施する予定であったが、飲食を伴うこともあり、実施には至りませんでした。

Ⅳ．法人の会議

１．理事会、評議員会

	開催日程 会　場	議事内容
理事会 （第1回）	5月27日 長田区役所 7階	1. 令和3年度　事業報告･決算報告 2. 評議員選任･解任委員の選任 3. 評議員選任候補者の推薦、評議員選任･解任委員会の招集 4. 顧問の選任 5. 定時評議員会の招集、提出議案
定時評議員会	6月21日 長田区役所 7階	1.　令和3年度　事業報告･決算報告
理事会 （第2回）	3月20日 長田区役所 7階	1. 令和4年度　補正予算（案） 2. 令和5年度　事業の受託契約（案） 3. 令和5年度　役員等賠償責任保険契約の締結 4. 令和5年度　事業計画（案）、予算（案） 5. 評議員選任候補者の推薦、評議員選任･解任委員会の招集 6. 理事･監事の選任（案） 7. 第2回評議員会の招集、提出議案
評議員会 （第2回）	3月20日 長田区役所 7階	1. 令和4年度　補正予算（案） 2. 令和5年度　事業計画（案）、予算（案） 3. 理事･監事の選任

２．評議員選任・解任委員会

	開催日程 会　場	議事内容
評議員選任･ 解任委員会	5月27日 長田区役所 4階	1. 評議員の選任
評議員選任･ 解任委員会	3月20日 長田区役所 4階	1. 評議員の選任

３．監事監査

	開催日程 会　場	議事内容
監事監査	5月16日 長田区役所 4階	1. 令和3年度　事業報告 2. 令和3年度　決算報告